

日本海総合病院呼吸器内科病棟に入院歴のある患者さんへ

日本海総合病院では地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構倫理審査委員会の承認を得て以下の臨床研究を実施しています。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	多職種連携による統合的便秘ケアの推進と実践 —呼吸器内科病棟における排便コントロールの個別的介入の取り組み—
研究の実施体制	研究責任者：前田 祐紀
研究の目的	呼吸器内科患者における便秘は、抗がん剤やオピオイド使用、活動量低下、食事摂取量の減少など複合的要因により高頻度に生じる。さらに便秘は腹部膨満による横隔膜挙上を介し呼吸困難を増悪させるなど、疾患管理やQOLに大きく影響する重要な症状である。しかし臨床現場では、排便コントロールは看護師個々の経験や判断に依存しており、栄養・薬剤・運動といった多面的要因が関与するにもかかわらず、多職種が連携した介入体制は未整備であった。看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士がそれぞれの強みを活かし、連携した介入体制を構築することで、看護師の専門性の向上とともに、患者個々に応じた包括的便秘ケアの実践と排便状況の改善を図る。
研究の方法	看護師の意識調査により課題を抽出し、おむつマイスターによる排便障害と看護、皮膚排泄ケア認定看護師からは排便ケアについて、栄養士からは食事療法について、薬剤師からは薬剤選択、理学療法士からは運動療法について学習会を実施した。独自の便秘ケア評価表を用い看護師の知識習得を評価し、実践への反映状況をアンケート調査した。令和7年7月以降当病棟に入院した患者182名の排泄チェック表を用いて入院前後の排便間隔を分析し、入院前の排便間隔を超過している患者に対し10月以降多職種カンファレンスを通じ、個別に介入を行った。
個人情報の取り扱い	個人情報の取扱いに関しては、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守し、研究に関する情報の公表においては、個人が特定されることがないように配慮する。また、情報の保管及び廃棄は「試料・情報の保管及び廃棄の方法」に従い厳重に管理する。
試料・情報の保管及び廃棄の方法	(1) 保存方法・期間 研究のために収集したデータや解析結果は、専用のUSBメモリーで厳重に管理し、研究終了後3年間保管する。 (2) 廃棄方法 研究のために収集したデータや解析結果は、保存期間終了後すみやかに破棄する。紙媒体は細断処理し、電子媒体についてはデータ再生不可能な状態に処理する。
問い合わせ先	日本海総合病院 4階東病棟 前田 祐紀 電話：0234-26-2001(代)